



2018-5-6 幾代会まとめ

- 日時 2018年5月6日
- 観察場所 多摩川河川敷
- 集合場所 青梅線 河辺駅
- 参加者 上左から 小沢、須崎、川杉、岡、岩本、樋口
下左から 木村(洋)、越前、松本、中尾
- 下見参加者 江藤、中部、須崎、宇津木、越前 (敬称略)
- 内容 多摩川河川敷の植物を観察
- 感想 須崎さんの案内で、普段からよく見かける植物の詳しい説明が聞けた
昼休みに岩本さんから、三ツ又沼ピオトープ保全の話、松本さんから野鳥の話が聞けて良かった
参加者相互の親睦を深めることができた

			
シラカシ 白樫 ブナ科 常緑 春に前年の古い葉を落とす 細かい鋸歯が3分の2ほどある	アラカシ 粗樫 ブナ科 葉は堅く、大きく鋭い鋸歯が葉の半分ほどある	ヤマボウシ 山法師 ミズキ科 4枚の花弁に見えるのは苞で、蕾を包んでいたものが変化したもの 赤く熟した実は 食用、果実酒	ヤマボウシの樹肌 古い表皮を うろこ状に剥がれ落とす
			
ノイバラ 野茨 バラ科 果実は利尿薬	ヌルデ 白膠木 ウルシ科 羽状複葉 翼あり 実は塩辛い	オニグルミ 鬼胡桃 クルミ科 翼なし	イタチハギ 鼬萩 マメ科 イタチの尻尾に似る

